



日獣大OSCEトリアル報告Ⅱ

日本獣医生命科学大学

入交眞巳

平成26年4月19日に実施された OSCEプレトリアル報告

- 実施方法と参加人数
- 実施後のアンケート結果の報告
 - 学生からの意見
 - 日獣大教員からの意見
 - 見学者からのご意見
 - 模擬クライアントからのご意見
- プレトリアルを実施した感想と今後の展望



日獣大OSCEプレトリアル

- 対象者：獣医学科6年生全員（96名） → 参加人数は49名（53%）
- 実施日：平成26年4月19日（土）
- 教職員 8時15分集合（全体会議のあと、持ち場で待機）
- 学生 8時45分集合（2教室に集合）
- 試験開始 9時
 - すべての試験終了時間12時半

学生の当日の動き

受験番号1-48番

受験番号49-96番

9:00AM

1-48番
C棟-501集合

C棟 病院
医療面接

49-96番
B棟-411集合

9:00AM

9:15-
10:45AM

B棟311に
移動 待機

B棟 アリーナ
実技試験

C棟-301に
移動 待機

9:15-
10:45AM

12:30PM

図書館
アンケート

12:30PM

解散

学生への諸注意

- 受験票と名札は当日配布、試験説明会は前週に行う
- 受験番号はランダムにし、学生は当日の朝まで順番が分からない
 - 遅刻者などを最後尾につけられるように配慮できる
 - 順番を計算して、あえて家で待機してから登校しないようにするため
- 携帯、パソコン、電子通信機器の持ち込み禁止
- 教科書、ノートの持ち込み可（待ち時間に勉強できるように）
 - 試験会場に入るとカバンごと預かる→会場から退出時に返却

学生アンケート結果（全体）

- ブース間の移動や誘導はわかりやすかったが、課題の出し方に工夫が必要
- 待ち時間が長すぎる
- 研究室のよく知っている先生に評価してもらいたくない
- 評価基準を知りたい

学生アンケート結果（実技）

- 実技試験の時間が足りない（3分）
- 前もって練習しておきたかった（勉強不足を感じた）。必要な情報を「スキルスラボ」のようなもので学んでおきたかった
- 技術的側面への不満（机の高さ、縫合台の高さや幅）
- 前もって物の配置など知りたかった

学生アンケート結果（面接）

- 実習をしていたため、やりやすかった
- 時間が長すぎる
- 研究室の先生が評価するのはお互い気まずくなる

日獣大教員からの意見

- 評価が難しい
 - 「できる」「できない」だけの評価は難しい
 - 評価者マニュアルの把握が重要、事前説明会の充実が必要
 - チェック漏れ対策
 - 「時間切れ」に対する対処を考える必要あり
 - 評価のための評価者トレーニングが必要
 - 自分の研究室所属の学生が持ち場のブースにあたらないよう工夫ほしい
-
- トイレ休憩
 - 椅子(面接)や水の準備

見学者からのご意見

- 評価基準が知りたい
- 時間配分を考える必要あり
- スキルラボの設置
- 全大学統一基準の設定が急務

- 必要な人数と予算確保が難しそう



標準クライアント(アニコム社員)からの ご意見

- 事前に標準クライアント役になるための試験を行い、質の統一を図る必要あり
 - 全国OSCE委員会での統一とトレーニング
- シナリオに詳細な設定が必要(どんな質問にも答えられるように)
- シナリオに不自然な部分があるため改善が必要
 - 役を演じにくいところがある

日獣大 教育推進室の反省と感想

- 96名参加するプレトリアルを準備したが、53%の参加率
→ 運営側の問題がたくさん見つかったため、半数で良かったが、次回のトリアルは参加率100%で行う予定
- OSCEによって実習の復習・練習を行うようになる
 - スキルラボを使用した学習へのモチベーション向上につながる
- スキルラボ設置は絶対に必要→現在設置計画中

トライアルを行って感じたOSCE実施の意義

OSCEを導入すること

- OSCEという試験を行うことが目的ではない
- OSCEを行うことで、どう教育したら教育効果が上がるのかを考えるきっかけになる

- 学生もOSCEがあることで復習や練習を行う意識があがる
- 学生に学習の場とチャンスを与えるきっかけとなる

ありがとうございました

